

互助会だより

親陸旅行に参加して

深澤 東洋 (友部地区)

互助会恒例の親陸旅行が11月10日と11日の両日実施されました。行先は栃木県烏山方面、当日は穏やかな秋日和に恵まれ、友部駅北口と笠間市シルバー人材センターと2カ所同時に9時スタート。壬生のパーキングエリアで合流、大谷資料館に向かいました。バスの中ではカラオケで盛り上がり、あつという間に到着。地下壕の探掘場を見学し、その大きさに圧倒されました。次に向かったのは鳥崎酒蔵、試飲をして本日の観光巡りは終了。本日の宿、大金グランドホテルに向かいました。ホテルに着きすぐに温泉で汗を流し、5時から宴会、カラオケ。ひよっとこ踊りで盛り上がり予定の2時間はあつという間に過ぎてしまいました。二次会もカラオケで楽しめました。旅の二日目は朝方の雨も上がり、絶好の旅日和となりました。最初に雲巖寺に向かい景観を堪能、そのあとは道の駅巡り、先ず「那須与一の郷」で昼食、その後「ばとう」「もてぎ」に立ち寄り各々お目当ての土産品を購入、帰路に着きました。友部駅には予定通り到着、無事に旅を終わることが出来ました。これも幹事の稲見さん・大木さんのお陰と感謝しております。楽しい旅がありました。



雲巖寺



ゴルフ同好会



将棋の会

平成29年に発足した「ゴルフ同好会」は現在16名の会員により年2回健康増進と親睦を深めるため楽しく活動しております。また、平成31年に発足した「笠間市シルバー将棋の会」は、第一回を3月に、第二回を8月に開催、多数の参加者で盛会でした。本会は、ゲームの勝ち負けだけでなく、60年、70年前の幼き頃の思い出、その他なつかしい自分歴を楽しく語り合える絶好の機会でもあります。今後、新たに「カラオケ同好会」(仮称)の設立に向け、理事を中心に内容を検討しております。これからも、皆様からのご意見を頂きながら、多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

事務局からのお知らせ

●令和二年度の作業(草取り・草刈・植木剪定等)のご予約を一月よりお受けしております。注文が集中する時期にはご要望にお応えできないこともございます。また、天候等でご予約をお受けしても遅れる場合もございますのでご了承下さい。

●会員の皆さんへ

昨年一年間の配分金支払い証明書をお送りいたします。確定申告の際に必要なので、くれぐれも紛失されないよう大切に保管して下さい。

編集後記

明けましておめでとうございます。日頃より、市民の皆様方にはシルバー人材センターを御利用頂きありがとうございます。昨年は温暖化の影響から、関東と東北地方を中心に想定外の大型台風が続げさまに上陸、記録的な豪雨により、身近な那珂川や久慈川が氾濫し、堤防が決壊。住宅や車、農作物等に甚大な被害を被りました。

私達の安全作業も想定外を見越した、対応が必要ではないでしょうか。お互いに安全規則を守り、ゼロ災で行きましょう。本年も健勝で、幸多き一年でありますようご祈念申し上げます。

※親しみある広報紙にしたいと考えておりますので皆様からのご意見、ご要望等お寄せいただけましたら幸いです。

総務部会 高柳 栄次

第26号

令和2年1月20日

発行 (公社)笠間市シルバー人材センター
編集 総務部会
住所 笠間市石井717番地
電話番号 0296-73-0373

令和元年度運営状況報告
(4月~12月)

会員数・就業状況			
	男性	女性	合計
会員数	236名	107名	343名
就業実人員	193名	98名	291名
就業率	81.8%	91.6%	84.8%

事業実績	
公共受注額	43,204,673円
民間等受注額	101,707,177円
受注額合計	144,911,850円
受注件数	3,125件



「光環に包まれて」 悉知保男 (友部地区)

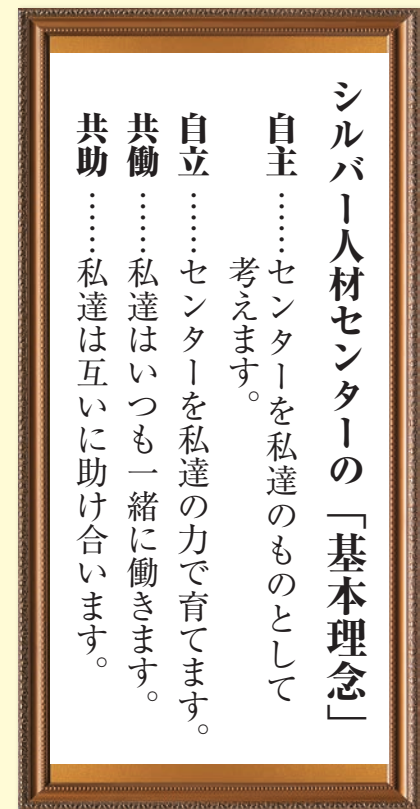
新年ご挨拶

理事長 磯 護



新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より笠間市をはじめ、関係先の皆様からシルバー人材センターの運営に関しまして、深いご理解、ご協力をいただき心よりお礼申し上げます。昨年、集中豪雨や記録的な猛暑など大きな自然災害が多発しました。今年も異常気象が懸念されていますが、今年も災害のない年であることを祈りたいと思います。

さて、近年の労働環境は様々な分野で人出不足が生じており、国でも「働き方改革実行計画」の中でシルバー人材センターの高齢人材の活用が掲げられております。しかし、企業の定年延長や継続雇用制度の導入などの制度改革があり、シルバー人材センターとして会員の確保は厳しい状況にあります。さらに、シルバー人材センターの根幹である「臨時的、短期的または軽易な仕事」では対応できない業務の依頼もあり、それだけ人手不足が深刻な状況にあることが窺われ、当センターとしても対応に苦慮している状況であります。いろいろ課題はありますが、当センターは会員の皆様の就業の機会を確保し、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としており、会員の皆様が働くことを通じて、地域社会の一員としての生き甲斐を実現していただきたいと思っております。最後に、本年も皆様元気に活躍されることを祈念して新年のごあいさついたします。



シルバー人材センターの「基本理念」
 自主……センターを私達のものとして考えます。
 自立……センターを私達の力で育てます。
 共働……私達はいつも一緒に働きます。
 共助……私達は互いに助け合います。

市長挨拶

笠間市長 山口 伸樹



明けましておめでとうございます。明けておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、笠間市の行政運営の推進に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国におきましては、人生100年時代を見据え、誰もが活躍できる一億総活躍社会の実現に向けて、働き方改革・人づくり革命・生産性革命や効果的・効率的な保健・医療・介護・福祉等の推進により、全世代型社会保障の基盤強化に取り組んでおります。

笠間市では、令和2年度の重点課題の一つに「様々な人材が活躍できるまちづくりの推進」があります。制度及び手法の抜本的な見直しを視点としながら、質の高い笠間暮らしの実現に向けた各種サービスの強化を図ってまいります。

その中で、様々な人材の活躍促進におきまして、高齢者の就労促進も重要であり、地域に密着した多様な人材を有するシルバー人材センターに大いに期待がかけられているというところでございます。就業を通して、高齢者の社会参加・生きがいづくりの推進を図り、社会を支える一員として活躍いただけるよう、今後もセンターの運営を支援していきたくと考えております。

結びになりますが、シルバー人材センターの益々の発展と会員の皆様方のご多幸とご健勝を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



●発注者の声

笠間工芸の丘株式会社

代表取締役 福永 信一様

当社は一九九八年、笠間芸術の森公園内に設立されました。笠間市を筆頭株主としていますが、経営的には純然たる民間企業として運営にあたっています。

主な事業内容としては、①笠間焼陶芸作品の販売、②笠間物産品の販売とカフェ運営、③ロクロ・手ひねり・絵付けといった観光体験に分かれます。国内の陶芸市場は少子高齢化の影響もあって縮小傾向にある一方、若い世代を中心に新たなジャンルも生まれ始めています。これまでと違って、若い世代をどう引き付けていくかが重要な課題となってきました。そういった意味で、インバウンド事業の推進もこれまでになくその重要性を増しています。

シルバー人材センター様には東京ドーム十二個分に相当する広大な公園敷地内の清掃やあそびの杜の管理、またイベント開催時の駐車場運営等さまざまな側面でご協力、ご支援をいただいております。こういった地道で欠かせない熟練度の高い仕事に、いつも深く感謝している次第です。

国内各所から来られるお客様のみなならず、これからは海外から来られるお客様に対しても、この場所は笠間市、ひいては茨城県のイメージ形成に欠かせない存在となっております。

これからも末永くお付き合いさせていただきたいと願っております。

認定こども園こじか幼稚園

理事長 川野輪 悦子様

認定こども園こじか幼稚園は、国道50号から少し入った笠間市箱田の環境の良い場所にあります。二才〜五才の就学前の幼児が在籍しています。園では、様々な体験を通して園児達が自分で考え行動できるよう見守り・指導をしています。又、元気いっぱい園児達はいろいろな遊びを考え楽しんでいきます。好きな遊びは外遊び・三輪車・砂遊び・滑り台・鬼ごっこ・かくれんぼ・・・そして虫探しです。ダンゴムシ・バッタ・カマキリ・ミミズ時にはかえる・トンボ等、園庭の草の中・石の下等で見つけることが大好きなようです。

自然豊かな園庭は草が伸びるのが早いので、五月〜九月子ども達が安全に遊べるよう一役買って下さるのがシルバー人材センターの皆様です。一年間の予定を計画して予約を入れますが、思ったより早く草が伸びたり、伸びの遅いときがあったりと、その都度予定を変えても来て下さることに感謝しております。朝早くから刈払い機で仕事を開始。子ども達が園庭で遊ぶ時間は外回りの草刈りをして下さいます。教職員では園庭の整備がなかなか出来ない中、草刈りをして頂き毎回助かっています。

暑い時期での作業は熱中症や怪我等には気を付けてお仕事を頑張ってください。今後ともよろしく申し上げます。

「人生100年時代 これからの人生

あなたはどのような

生き方をされますか」

去る11月に、茨城県常総市出身の女優羽田美智子氏をお迎えし、新規シルバー会員向けセミナーが開催されました。この企画は、厚生労働省茨城労働局からの委託を受け高齢者人材確保育成事業の一環として、土浦市・つくば市・水戸市で開催されたものです。

シルバー人材センターは、各市町村に設置されており、60歳以上の健康で働く意欲のある方なら、お住まいの地区のシルバーに登録して就業することができます。人生100年と言われる昨今、働くことを通して、自分自身の生きがいと健康のためにも是非シルバーにご入会下さい。

羽田氏の講演より

「長生きするための六カ条」

- ① 良く動く
- ② 野菜や発酵食品を良く食べる（豆類）
- ③ 小食（腹6〜8分目）
- ④ ストレスを少なくする選択
- ⑤ コミュニティに属する
- ⑥ 家族を大切に



就業相談を受ける水戸市SC理事の皆さん

笠間市シルバー人材センターでは、毎月第3金曜日午後2時から入会説明会を開催しております。事前のお申し込みが必要となります。また、笠間・友部・岩間地区を毎月交替で説明会を行っておりますので、お電話でご確認の上ご参加下さい。

普及啓発活動

毎年10月の「シルバー事業普及啓発月間」に合わせ、恒例の市内幹線道路の清掃活動を行いました。また今年度は、全拠点一斉活動を実施し、茨城県シルバー人材センターが製作したウエットティッシュを、各駅等の利用者に配布し、シルバーのPRに努めました。



2020年男 2020年女

今年の干支、子年を迎える「年男・年女」シルバー25名の方を代表して、2名の方から今年の抱負をお寄せ頂きました。人当たりの良さと細かい配慮ができ、また無駄遣いをしないコッコッ貯蓄型、苦勞に対する忍耐力を兼ね備えた大器晩成型の特徴を持った方が多いそうです。



竹本 辰雄 (友部地区)

シルバー人材センターにお世話になって19年の歳月が過ぎ、事務所の皆様又会員の方々には、色々ご指導を受け、幸い健康に恵まれ、今年も、なお一層健康に留意し、基本理念のもとに頑張ります。



塩畑 守一 (笠間地区)

お客様は主に高齢者が多く、若かった時は、障子・網戸も自分で張ったりしていたようですが、最近ではシルバー人材センターへの依頼が多くなってきたようです。襖・障子の動きを調整したり、その他困っている事にも対応し喜んでもらえるよう頑張ります。